

未来へつなげる子どもの笑顔

特別な支援が必要な子どもたちの「育ち」を支援します

区は、全ての子どもたちの学びと育ちを支える「子育て先進区」を目指しています。今号では、障害や発達に課題のあるお子さんの成長や社会参加を支援する、区の特別支援教育の取り組みを紹介します。

特性に応じた学びと育ちのために



▲中村副参事
(子ども特別支援担当)

今年4月に子ども特別支援担当を設置しました。

学校教育の場面では、その子の特性に合った学びの環境を用意し、一人ひとりの力が伸びるように、就学相談を始めとしてさまざまな支援を行っています。

学校外や就学前の場面では、学校やすこやか福祉センター、障害児通所支援施設等と連携し、情報共有することで、切れ目のない支援を実現できるように取り組んでいます。各サービスのご利用については、お気軽にそれぞれの担当へ相談してください。

中野区の特別支援教育

●就学相談

お子さんに最も適した学習の場について、就学相談専門員が、保護者と一緒に考えます。また、相談の中で伺った情報を就学先の学校へ伝え、切れ目のない支援に努めています。

●特別支援学校

知的障害や肢体不自由があり、着替え・排泄・食事などの身の回りのことやコミュニケーションに困難があるお子さん、聴覚・視覚障害のために専門的な教育を必要とするお子さんを対象とした学校です。お子さんの特性に合わせた学習を行います。

希望するお子さんは、地域指定校に副次的に籍(副籍)を持ち、学校行事や授業への参加、学級および等で地域との交流を図っています。

●特別支援学級

知的障害のあるお子さんが毎日通う学級です。人数で、個々の課題や目的に合わせた指導を行います。教科学習の他、宿泊や調理、校外学習などを通して、将来の社会参加を目指します。

また、行事や集会、給食の時間等を通して、通常の学級のお子さんとの日常的に交流しています。

特別支援学級

小学校	桃園	ひまわり学級
	新井	こだま学級
	江原	わかば学級
	西中野	しらさぎ学級
	みなみの	神明学級
中学校	美鳩	あおぞら学級
	第二	I 組
	第四	四葉学級
	第七	D 組



▲栽培活動(神明学級)



▲食育の一環として行った枝豆のさや取り(四葉学級)

●特別支援教室(巡回指導)

通常の学級の学習におおむね参加でき、発達に応じた支援が必要な小学生が対象です。お子さんの特性に応じた指導を行い、学習意欲や自己肯定感、集団適応力を育てます。平成28年度から全ての小学校に設置し、左記の4校を拠点校として、巡回指導教員が児童の在籍校を回り、指導しています。

拠点校(小学校)＝中野本郷・塔山・上高田・鷺宮

☆中学生については、中野中学校に設置した通級指導学級において指導しています

●通級指導学級

難聴や言語障害のある小学生のお子さんが対象です。桃花小学校にある「きこえとことばの教室」に通い、発音の練習の他、吃音への対処方法を学びます。

区立障害児通所支援施設の取り組み

区立の障害児通所支援施設(下表①～④)では、左記の事業を通して、障害や発達に課題のあるお子さんを支援しています。

●療育相談

乳幼児の障害や発達について、専門職員に相談できます。

実施施設①④

●放課後等デイサービス

小学生～高校生のお子さんを対象に、生活能力向上のための訓練や社会との交流促進等を行います。

実施施設①③④

●保育園・幼稚園等巡回訪問

障害や発達に課題のあるお子さんが在籍する保育園・幼稚園に定期的に訪問し、在籍園の職員へ専門的な助言・支援をします。

実施施設①④

●一時保護

保護者の方が、病気等の理由でお子さんを一時的に保育・介護できない場合に、お子さんを一時的に預かります。

実施施設①③④

●児童発達支援

就学前のお子さんを対象に、日常生活の基本的動作の指導、集団生活への適応訓練等を行います。

実施施設①③④

☆児童発達支援については、担当のすこやか福祉センター(⑤)へ、その他の事業については、直接、実施施設へ相談してください。

お子さんと保護者に寄り添った支援を

療育センターアポロ園で

児童発達支援事業について職員に聞きました
発達の課題や障害のあるお子さんへの日常生活における指導や学習活動を通して、保護者の方と一緒にお子さんの発達や成長を促す支援をしています。特に「保護者に寄り添った支援」を心掛け、家庭でも実践できることを念頭に置いています。次の行動に移るのが苦手なお子さんの場合は、例えば、10秒数えて気持ち「遊び」からおしまいに切り替えたり、簡単なジェスチャーや絵カードを取り入れて行動を切り替えるきっかけにしたりするなど。また、絵の具や粘土を使った活動など、家では思い切りできないことも取り入れていきます。

お子さんの成長がうれしい

登園し始めは緊張していたお子さんが、活動を通して次第に「ニコニコ笑顔」になっていくと、私たち職員も安心します。また、できることが増えていくお子さんの様子を見られることがうれしいです。これからも、お子さんと保護者の方のペースに合わせた支援を続けていきます。



▲「朝のあつまり」での手あそび

教育委員会でも議題に

6月22日、第七中学校で開催した「地域での教育委員会」では、特別支援教育について、学校やすこやか福祉センター、障害児通所支援施設の取り組みを確認。互いの連携強化について話をしました。

7月27日の「夜の教育委員会」では、就学相談について意見を交換。子どもたちが安心して学び、育つために、就学相談をより多くの方が利用できるよう工夫して取り組むことを確認しました。

10月19日には、桃園小学校で地域での教育委員会を開催。切れ目のない支援をするために必要な情報共有や個別の支援計画などについて意見交換をしました。

また、傍聴したみなさんからも意見をいただきました。



▲第七中学校で開催した地域での教育委員会

オリンピック・パラリンピック教育を進めています

各園・学校では、アスリートとの交流や障害者スポーツの実践などを通して、世界で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

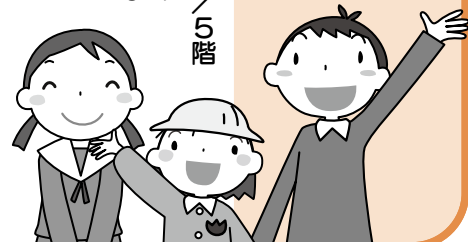
交流を通して身に着く国際感覚

向台小学校の子どもたちは外国人との交流を通して、世界各國の文化を知り、楽しみながら国際感覚を身に着ける活動を行っています。



▲5年生のギョーザ作り

1・2年生は、マルタから来日した方から民俗楽器の演奏や装飾品の紹介などを行い、3・4年生は、フィンランド大使館の職員と交流会を行い、各国への理解を深めました。5年生は、明治大学の中国人留学生と「コミュニケーション」をとりながらギョーザ作り。6年生は商工会議所の出前授業「世界ビートルになろう」を受け、海外でビジネスをしている方に話を聞きました。



子ども特別支援担当／5階
TEL(3328)5551
FAX(3328)5550